

# 日支合辦語における「的」の用法

四 宮 愛 子

The usage of “de (的)” in *Nisshigōbengo* (日支合辦語)

SHINOMIYA Aiko

Nakatani Shikaji (中谷鹿二) named Japanese-Chinese mixed expressions “Nisshigōbengo” (日支合辦語). He worried and criticized that its use could be misleading for mutual understanding between Japanese and Chinese people. Then, to correct Nisshigōbengo, *From Nisshigōbengo to Correct Chinese* was published in 1926.

Nisshigōbengo is pidgin that was created through Japanese and Chinese language contact. One of its linguistic features is using a large number of “de” (的). The so-called form and usage of pidgin were simplified. However, from the view of correct Chinese, it appears that in Nisshigōbengo a needless “de” (的) is added. This paper analyzes why Nisshigōbengo uses “de” (的).

Keyword: *Nisshigōbengo*, the usage of “de” (的), pidgin, Nakatani Shikaji, language generation

キーワード：日支合辦語、「的」の用法、ピジン、中谷鹿二、言語生成

## はじめに

中谷鹿二<sup>1)</sup>は、日本語と中国語が混交した表現を「日支合辦語」と称し、その使用は日本人と中国人の相互理解において誤解を招きかねないと懸念し、批判した。そして、日支合辦語を正則の中国語に正すことを目的として、1926（大正15、昭和元）年に『日支合辦語から正しき支那語へ』が出版された。

日支合辦語は、日本語と中国語の接触により生成されたピジンであるが、その言語的特徴の一つとして「的」の多用が挙げられる。所謂ピジンの形態や用法は簡略化するとされる。しかし、正則の中国語を基準に考えると、日支合辦語には一見、不必要に思われる「的」が加えられている。そこで、日支合辦語が、なぜ「的」を使用したのかについて検討する。

---

1) 中谷鹿二は、宮島大八の善隣書院で学び、従軍通訳や中国語講師、中国語学習雑誌『善隣』の主幹を務めた経歴を持つ、中国語に造詣が深い人物である。

## 一 「的」が用いられている語彙

まず、「的」が用いられている単語を品詞により分類すると、以下6種類に分けることができる。(1) 名詞+「的」、(2) 数量詞+「的」、(3) 代詞+「的」、(4) 形容詞+「的」、(5) 動詞+「的」、(6) 副詞+「的」である<sup>2)</sup>。

## (1) 名詞+「的」

表1：名詞+「的」

	合辦語	振り仮名	日本語
1	<u>掌櫃</u> 的飯々幹活計好了、你的飯々	ヂアンクイデメシメシガヌホジホーラ、ニーデメシメシ	旦那飯の支度が出来ました、お上りなさい
2	他的 <u>姑娘</u> 的朋友大々の有	ターデクーニヤンデボンユーターターデユー	彼には別嬪さんに馴染が澤山ある
3	我的 <u>衣裳</u> 的壞了你的頂好修理せい	ワーデイシヤンデホワイラニーデテンホーシウリ…	私の着物が綻りた□らお前好く縫へ
4	他的 <u>頭</u> 的壞了有	ターデアタマデボワイラユー	彼は頭を負傷した
5	我的 <u>明天</u> 的房子歸る	ワーデミンテンデフアンヅカヘ…	私は明日家に歸る

## (2) 数量詞+「的」

表2：数量詞+「的」

	合辦語	振り仮名	日本語
1	<u>兩毛錢</u> 的好	(記述なし)	(記述なし)
2	<u>一毛錢</u> 的我的大々の賠賬	イモーセヌデワーデターターデパイヂヤン	十錢では私が大へん損をします
3	我的 <u>一個</u> 的知道、誰的誰的不知道	ワーデイカデチド、セイデセイデブチド	私一人が知つてゐる、誰も知らない
4	我的母親的病有的、 <u>三年</u> 的每天々々睡覺	ワーデムーチヌデピンユーデ、サヌネスデマイテヌマイテヌスイジョー	私の母は病気で三年間臥つてゐます
5	小孩 <u>一個</u> 的外べん溜達、你的快快的拿來	シヨーハイイカデワイ…リユウター、ニーデカイカイデナーライ	子供が一人で外で遊んでゐるからお前早く連れて来い

## (3) 代詞+「的」

表3：代詞+「的」

	合辦語	振り仮名	日本語
1	<u>我的</u> 明天的來	ワーデミンテヌデライ	私は明日来ます
2	<u>你的</u> な一べん幹活計	ニーデ…ガンホジ	お前は何處で仕事してゐるのか
3	<u>他的</u> 進上	ターデシンジョー	彼に與へる
4	<u>誰的</u> 誰的不知道	セイデセイデブチド	誰も知らない
5	<u>這個</u> 的壞了的ぽこべん	チオカデホワイラデ…	お前これを壊すなよ

2) 各項目の例文は、分析したものの中から代表的なものを5例ずつ取り上げ、表にまとめた。なお、二重線は筆者が加えたものである。

#### （４）形容詞＋「的」

表４：形容詞＋「的」

	合辦語	振り仮名	日本語
1	還少々 <u>頂好的</u> 沒有か	ハイシヨーシヨーテンホーデメイユー…	今少し好いのはないか
2	你的大々的 <u>おそい</u> の不行ぢやないか	ニーデターターデ…デブシン…	(記述なし)
3	這個 <u>一樣的</u> 拿來	チヤカイヤンデナーライ	これと同じのを持って来い
4	你的今天的 <u>快々</u> 的來々有か	ニーデキヌテンデカイカイデライライユー…	お前は今日早く来たのか
5	你的這邊的 <u>少々慢々</u> 的	ニーデチヤベンデシヨーシヨーマヌマヌデ	お前此處で暫く待つてゐろ

#### （５）動詞＋「的」

表５：動詞＋「的」

	合辦語	振り仮名	日本語
1	這個你的 <u>壞了</u> 的奧さんの生氣有ぞ	チヤカニーデホワイラデオク…デソッキュー…	これをお前壊すと奥さんにしかられるぞ
2	你的力氣大大的 <u>押す</u> 的好	ニーデリーキターターデオ…デホー	お前力を出して押せ
3	他的 <u>去</u> 的不是	ターデチユイデブス	彼が行つたのではない
4	我的 <u>拿來</u> 的不是	ワーデナーライデブス	私が持つて来たのではない
5	我的 <u>說話</u> 的不是	ワーデソホワデブス	私が云ふたのでない

#### （６）副詞＋「的」

表６：副詞＋「的」

	合辦語	振り仮名	日本語
1	你的來々 <u>沒有</u> 的ぼこぺん	(記述なし)	お前何故来なかつたか
2	他的說話 <u>沒有</u> 的我的不知道	ターデソホワメイユーデワーデブチドー	彼は私に話さないから私は知らない
3	我的小儉兒 <u>不是</u> 的害怕沒有	ワーデシヨートルブスデハイバメイユー	私は盗んだのではないから恐れない
4	少々負けるで <u>通同</u> 的買賣 <sup>3)</sup>	シヨーシヨーマ…トントンドマーイマイ	少し負ければ皆買ふ
5	撒謊 <u>沒有</u> 的三毛錢	サーホワンメイユーデサヌモーセヌ	懸値のない處三十錢です

## 二 「的」の使用

以上の「的」が使用されている語彙をふまえ、日支合辦語の使用者が「的」をどのように捉えていたのか、また、「的」がどのような機能を担っていたのか、或いは特に意味はなかったのか、について検討する。

3) 中谷鹿二は、「皆」を意味する「トントン」に「通同」の字を当てているが、当て字或いは誤記であると思われる。現代中国語では、「統統」や「通通」が用いられる。そもそも、「日支合辦語」は、口頭で用いられる補助的言語であり、文章など書面化することは本来の目的ではない。そのため、中谷のように記録として残す場合は、適当な文字で表現されることがある。

まず、中澤信三（1944）は、日本語の「てにをは」の代わりに中国語の「的」が用いられていると指摘している。

兵隊支那語に於てむやみに「<sup>デ</sup>的」を用ひ、「<sup>オーデ</sup>我的」「<sup>ニーデ</sup>你的」「<sup>チアカデ</sup>這個的」「<sup>ナカデ</sup>那個的」などとやるのは、どうやら「てにをは」に誤らされてゐるらしい。

とにかく正しい支那語に入るにはまづこの「<sup>デ</sup>的」の濫用を匡正しなくてはいけない。

「お前」といふのは「<sup>ニー</sup>你」である。「お前は」といふときも、「お前を」といふときも「お前に」といふときも、總て「<sup>ニー</sup>你」である、ただ「お前の」といふときに限り「<sup>ニーデ</sup>你的」と「<sup>デ</sup>的」をつけるのである。そしてこの「<sup>デ</sup>的」の發音であるが、「<sup>デ</sup>デ」とはつきり發音してはいけない、「<sup>デ</sup>デ」でもなし「<sup>ド</sup>ド」でもなし「<sup>ダ</sup>ダ」でもなし、「<sup>ディ</sup>ディ」或は「<sup>タ</sup>タ」と出来るだけ軽く發音しておくのである。即ち「お前の」といふときには「<sup>ニーダ</sup>你的」「<sup>ニーディ</sup>你的」<sup>4)</sup>

李素楨（2013）も「<sup>デ</sup>的」が日本語の格助詞のように使用されていると述べている。

また、すこし中国語を勉強した者は、日本語の「の」は中国語の「<sup>デ</sup>的」にあたると知っているため、「<sup>デ</sup>這個的你的」、「<sup>デ</sup>那個的我的」、「<sup>デ</sup>誰的誰的」など「<sup>デ</sup>的（<sup>デ</sup>）」を格助詞に相当するものとして余計に加えた。<sup>5)</sup>

加えて、桜井隆（2015）は形容詞につけられる「<sup>デ</sup>的」について以下のように述べている。

この「<sup>デ</sup>的（<sup>デ</sup>）」は、日本語の形容動詞の連用形語尾「<sup>デ</sup>で」、あるいは判定の助動詞「<sup>ダ</sup>だ」の連用形「<sup>デ</sup>で」との連想（あるいは混同）から、日本人にはなじみやすかったのではないかと思われる。<sup>6)</sup>

筆者は、「日支合辦語」における「<sup>デ</sup>的」の多用の理由は、日本人が日本語の助詞相当のものとして使用したこと、及び当時の日本人が「<sup>デ</sup>的」を正則の中国語の特徴として捉え、それを積極的に取り入れたことによるのではないかと考える。

中澤信三（1944）や李素楨（2013）が指摘するように、名詞や代詞の後ろに付けられている「<sup>デ</sup>的」は、助詞のように使用されている。ただし、代詞の中でも「<sup>オーデ</sup>我的」、「<sup>ニーデ</sup>你的」など人称代詞に付けられている「<sup>デ</sup>的」は、助詞として用いられているというよりも、「<sup>オーデ</sup>我的」、「<sup>ニーデ</sup>你的」が「<sup>オ</sup>我」、「<sup>ニ</sup>你」を表す一つの語として用いられている。また、形容詞や動詞に付けられている「<sup>デ</sup>的」は、語尾活用のように捉えることもできる。しかし、「<sup>デ</sup>的」が用いられている語彙の分類からもわかるように、数量詞や副詞にも「<sup>デ</sup>的」が加えられている。長沢健一（1983）が「兵隊は同じ言葉を二つ重ねて終わりに<sup>デ</sup>的（<sup>デ</sup>）」をつけると中国語

4) 中澤信三（1944）「兵隊支那語より一步前進（二）」『支那語月刊』昭和19年6月號 9頁

5) 李素楨（2013）『日本人を対象とした旧「満洲」中国語検定試験の研究』149-150頁

6) 桜井隆（2015）『戦時下のビジン中国語―「協和語」「兵隊支那語」など』425頁

になると思っていて」<sup>7)</sup>と述べるように、筆者は、当時の日本人は中国語には「的」を加えるものだ、或いは「的」をつければ中国語若しくは中国語らしくなると捉えていたのではないかと推測する。そして、その結果として「的」が多用されるようになったと考える。

### 三 語彙の使い分け——「你呀」と「你的」——

日支合辦語において、「的」が用いられた頻出語彙として代詞＋「的」の「你的」が挙げられる。日支合辦語の語彙は少ないながらも、一部に語彙の使い分けの傾向が見られる<sup>8)</sup>。

「你呀」と「你的」は、どちらも二人称「あなた」や「中国人」の意味を持つ類義語である。そこで、両者の使い分けについて分析する。

中谷鹿二（1926）は「你呀」と「你的」の勢力について、「此の「你呀」なんかは合辦語中での綽々たるもので侮り難き猛威を逞しふしてゐる」とし、また、「你的」についても「此語も「你呀」以上に勢力を有する言葉である」<sup>9)</sup>と述べている。

また、中谷鹿二が主幹を務める雑誌『善隣』の編集部（1935）による「日滿合辦語番附」<sup>10)</sup>には、「你呀」と「你的」は上位5位相当に列挙されている。このことから、二人称を表す代名詞の使用頻度が高かったことがわかる。

まず、「你呀」の例を挙げると表7の通りである。

表7：「你呀」の例文

	合辦語	振り仮名	日本語
1	你呀這個的いくらか	ニーヤチヤカデ…	お前これはいくらか
2	你呀這個的一天兩天慢々の飯々壞了沒有か	ニーヤチヤカデイテエヌリアンテヌマヌマヌデメシメシホワイラメイユー…	これを一日二日置いてから食べても腐るやうなことはないか
3	你呀電氣公園まで多少錢	ニーヤデンキコーエン…ドーショーセヌ	電氣公園まで幾らか
4	私の處の你呀	(記述なし)	(記述なし)
5	你呀車乗る好	(記述なし)	(記述なし)

「你呀」が用いられている例文は計24例ある。さらに、発話者と被発話者によって4つの会話場面に分類できる。①日本人から中国人の商売人に対しては14例、②日本人から中国人の人力車夫に対しては5例、③日本人から中国人のボーイに対しては3例、④中国人の人力車夫から日本人に対しては2例であ

7) 長沢健一（1983）『漢口慰安所』194頁

8) 日支合辦語の言語的特徴や社会的機能については、拙稿「「日支合辦語」の研究」『文化交渉』関西大学東アジア文化研究科院生論集 第7号 59-77頁を参照。

9) 中谷鹿二（1926）『日支合辦語から正しき支那語へ』10頁

10) 雑誌『善隣』編集部（1935）「日滿合辦語番附」『善隣』昭和10年10月號

これは相撲の番付表を真似ており、中谷鹿二はじめとする雑誌『善隣』の編集部が、「日支合辦語」の語彙をその語の使用頻度や影響力に基づいて列挙したものであると思われる。「你呀」と「你的」は「前頭」の一番目に位置している。

る。このことからわかるように、基本的な発話者は日本人である。

渡會貞輔（1935・1938）は、「你呀」が「お前」、「ボーイ」、「物賣」、「支那人」などの意味を持ち、「你呀」が指す対象が広いことを指摘している。

滿洲に居る日本人は支那人を呼んで一視同仁に你<sup>ニーヤ</sup>呀といふ、そして是が第二人稱三人稱は勿論進んでは男性女性にも應用するのでその範圍が極めて廣い、加之更に説明句を加へて子供の你呀だの野菜賣りの你呀だのといつて居る<sup>11)</sup>

你呀とは翻譯すれば「お前さんよ」「おい君」といつた様な意味だが在滿邦人は其の意義を取り違へ否之を廣義に解釋して「お前」「ボーイ」「物賣」「支那人」等凡有る方面に應用し正に你呀萬能たるの觀がある、左に二三卑近な例を示していかに深く在滿邦人が本語と馴染を重ねて居るかを検討して見よう。

鎧你呀まだ來々沒有か（商人即ち屋に當る）

お宅の你呀と私の所の你呀と喧嘩しましてね（ボーイ）

你呀快々の行く宜しい慢々の不行じやないか（お前）

日本人には吠えませんが你呀を見ると吠えます（支那人）<sup>12)</sup>

他方、「你呀」が侮蔑的な意味合いを含んでいるという指摘がある。安藤彦太郎（1988）は、「滿人」に代わり「你呀」が蔑称として用いられるようになったと述べている。

日中戦争（1937年）がはじまると、この「沿線官話」に大量の「兵隊支那語」が加わり、さらに「多彩」となった。東北では中国人のことを「滿人」と蔑称したが、のちに「兵隊支那語」がとってかわり、「ニーヤ」（你<sup>ニーヤ</sup>啊、お前の意から）と呼ぶようになった<sup>13)</sup>。

中谷鹿二（1926）は、「你呀」が「不快を起させる様な言葉」であるとし、以下のように述べている。

處で一方支那人の方でも吾々邦人を捉へて「你呀車乗る好」などと云ふ、若しこんなことを云はれると折角乗る積りの車も小癪に障つて止めて了ひたくなることがある、が然し此語の製造元はどうやら邦人にあるらしいから先ず第一に吾々の方からこんな人に不快を起させる様な言葉は使はないことにすべきである<sup>14)</sup>

11) 渡會貞輔（1938）『支那語支那文 漫談（増補）』善隣社 428頁

12) 渡會貞輔（1935）「支那語支那文 漫談（第六十二回）」『善隣』昭和10年9月號

13) 安藤彦太郎（1988）『中国語と近代日本』岩波書店 116頁

14) 中谷鹿二（1926）10頁



中谷鹿二（1926）は、「日支合辦語」における「你呀」の用法の製造元は、日本人であるようだとしている。金水敏（2014）は、日本語の「兄やん」と連想させ、以下のように推察している。

なお「呀」は本来終助詞なので、主語や目的語など、文末以外の位置で「呀」を用いるのも、中国語の文法からははずれている。日本語に語調を近づけて覚えやすく、言いやすくするために「你」に付加されたか、あるいは「兄やん」などの日本語の連想も働いたのだろう（「ニーヤン」としている例もある）<sup>15)</sup>。

また、渡會貞輔（1938）は「你」の発音から「阿哥（にい）」を連想させ、以下のように述べている。

中には你呀の呀を除つて你といふ者もある、一寸我が阿哥<sup>にい</sup>に通ずるので是なら何處となく色ぼくて好い、因に日露戦争時日露兩兵は相互に你なる言葉を以て呼び合つたといふことである<sup>16)</sup>

加えて、1900年の義和団事件に従軍していた原口統太郎（1938）<sup>17)</sup> は、「ニーヤ」について以下のように述べている。

この間も或軍人に會つたら、「ニーヤ」といふ支那語は使つちやいけないのですかとこの質問を受けた。我輩答へて曰く、支那人から君と呼びかけられてよい感じがしますか、ニーヤ」といふ言葉はその日本語の君より、まだ下卑た言葉です。あなたは何の必要があつて生嚙りの支那語を使はねばならぬか。日本語でなぜ話さないのかと答へたやうな次第である。<sup>18)</sup>

また、「あなたといふ語が大事」という小題で、中国語の二人称の使い分けが重要であると述べている。

上品な語と、下品な語を支那語ではどうして分つかといふに、大體第二人称によつて區別する。即ち「あなた」といふ語が甚だ大事である。你（ニー）、您（ニン）、你老（ニラーオ）、掌櫃的（チヤンコイテ）、老爺（ラーオエ）、先生（シエンシオン）、閣下（コオシヤ）、大人（ターレン）など皆あなたの語に當るが、言ふまでもなく話は常に上品な語を使ふに如くはないから、いま茲に並べたあなたといふ語の區別と使ひ方を、よく先輩に教はるがよい。滿洲で日本人の支那語となつてし

15) 金水敏（2014）『くそうだったんだ！日本語』コレモ日本語アルカ？—異人のことばが生まれるとき』岩波書店115頁

16) 渡會貞輔（1938）428頁

17) 松岡洋右が記した原口の著書の序によれば、「原口統太郎君は北清事變の頃に支那へ渡り、その後四十餘年もの間、北支と滿洲のみに生活して來た人で、最初は支那人を教育するための學學を經營し、自ら教鞭を執り、後には實業に従事して數千人の支那人を使役し、山東、河北、滿洲において開拓事業をやつたこともある。」と紹介されている。

18) 原口統太郎（1938）『支那人に接する心得』實業之日本社 7 頁

まつてゐる你呀（ニーヤ）なんか甚だ以て宜しからず、決して使ふべき語でない。<sup>19)</sup>

原口統太郎（1938）の記述から、「你呀」には侮蔑的な含意があるが、その意味合いを理解しないまま使用している場合もあることがわかる。「満洲で日本人の支那語となつてしまつてゐる你呀」とあるが、正則の中国語から「你呀」を借用して「日支合辦語」に取り入れた結果と言えるだろう。

次に、「你的」の例を挙げると表8の通りである。

表8：「你的」の例文

	合辦語	振り仮名	日本語
1	明天的 <u>你的</u> 快々の起來、 <u>你的</u> 起來的我的に起來說話	ミンテンデニーデカイカイデキライ、ニーデキライデワーデ…キライソホワ	明日お前早く起きろお前起きたら私を起こせ
2	我的每天每天 <u>你的</u> のを買賣するぢやないか	ウオーデマイテヌマイテヌニーデ…マイマイ…	私は毎日お前のを買ふではないか
3	<u>你的</u> の大々慢々の火車的沒有	ニーデターターマヌマヌデホーシヤデメイユー	お前馬鹿に遅いから汽車に間に合はない
4	掌櫃的飯々幹活計好了、 <u>你的</u> 飯々	ヂアンクイデメシメシガヌホジホーラ、ニーデメシメシ	旦那飯の支度が出来ましたお上りなさい
5	<u>你的</u> 小孩有か	ニーデショーハイユー…	お前子供があるか

「你的」が用いられている例文は計106例ある。「你呀」と同様に、発話者と被発話者によって5つの場面に分類できる。①日本人から中国人のボーに対しては27例、②日本人から中国人の商売に対しては9例、③日本人から中国人の人力車夫に対しては2例、④中国人の商売人・ボーイなどから日本人に対しては8例、⑤その他は60例である。その他の例文の発話状況や発話者について、発話者は明記されていないが、発話内容から判断すると主な発話者は日本人であると推測される。

以上、「你呀」と「你的」の分析から次のような使い分けの傾向が見られる。まず、共通点は、「你呀」も「你的」も二人称「あなた」の意味を持つが、基本的には日本人が中国人に対して用いる。例文は少ないが、中国人が日本人に対して「你呀」、「你的」を使用する場合もある。しかし、中国人は日本人に対して「奥さん」や「掌櫃的」を使用する傾向にある。

「你呀」と「你的」の使い分けの相違点については、「你呀」は主に商売人や人力車夫に対して用いられる。金水敏（2014）が推察するように、当時の日本人は「你呀」を「～屋のお兄さん」のような感覚で捉えていたのかもしれない。加えて、侮蔑的な意味合いで使われる場合があった。他方、「你的」が指す対象は広義的で、中国人に対する二人称「あなた」として用いられている。筆者は「你的」には、侮蔑的な意味合いはなかったのではないかと考える。もちろん、「你的」が侮蔑的な意味合いで用いられている例もあるが、それらは語用の問題と捉える。

19) 原口統太郎（1938）13-14頁



## おわりに

日支合辦語は、中国語と日本語それぞれの要素を取り入れながら、独自の「的」の用法を生成した。日支合辦語の「的」の用法は、大きく分けて二つある。一つ目は、日本語の助詞に相当するものとして「的」を用いるものである。二つ目は、日本人が「的」を中国語の特徴の一つとしてみなし、「的」を加えれば中国語になると捉えていたことによる用法である。これら二つの要因が相乗的に作用した結果、日支合辦語における「的」の多用現象につながったと言える。

## 参考文献

- 安藤彦太郎（1988）『中国語と近代日本』岩波書店  
金水敏（2014）『〈そうだったんだ！日本語〉コレモ日本語アルカ？——異人のことばが生まれるとき』岩波書店  
雑誌『善隣』編集部（1935）「日滿合辦語番附」『善隣』昭和10年10月號  
桜井隆（2015）『戦時下のピジン中国語——「協和語」「兵隊支那語」など』  
四宮愛子（2017）「「日支合辦語」の研究」『文化交渉：東アジア文化研究科院生論集』第7号，関西大学大学院東アジア文化研究科  
長沢健一（1983）『漢口慰安所』  
中澤信三（1944）「兵隊支那語より一步前進（二）」『支那語月刊』昭和19年6月號  
中谷鹿二（1926）『日支合辦語から正しき支那語へ』大連滿書堂  
原口統太郎（1938）『支那人に接する心得』實業之日本社  
李素楨（2013）『日本人を対象とした旧「滿洲」中国語検定試験の研究』  
渡會貞輔（1935）「支那語支那文 漫談（第六十二回）」『善隣』昭和10年9月號  
渡會貞輔（1938）『支那語支那文 漫談（増補）』善隣社

